

保健体育科学習指導案

日時	平成24年10月10日(水) 5校時
会場	体育館
生徒	1年B組(男子15名 女子10名 計25名)
授業者	菅原 浩幸

1 単元名 武道(剣道)

2 単元について

(1) 教材観

- ・ 武道は、武技・武術などから発生した我が国固有の文化として伝統的な行動の仕方が重視される運動で、相手の動きに対応した攻防ができるようにすることをねらいとし、自己の能力に適した課題の解決に取り組んだり、勝敗を競い合ったりする運動である。
- ・ 剣道は、日本の伝統文化として継承され発展してきた武道である。テレビ等で放映されることが少なく、生徒の目に触れることがほとんどないが、授業を通して日本の伝統文化である剣道に興味・関心を持たせたい。
- ・ 礼儀を尊重し、相手に感謝するという気持ちを重視する運動であるため、学習指導要領の目標に掲げている「心」と「体」の一体化が図られ、学校体育のみならず、生涯スポーツまでの「明るく豊かな生活を営む態度」の育成につながる運動である。

(2) 生徒観

- ・ 明るく素直な生徒で、与えられた課題に対して意欲的に取り組む生徒が多い。運動の苦手な生徒もいるが、自分の持っている能力を生かしながら学習に取り組む前向きな姿勢が見られる。お互いに励まし合いながら学習を進める雰囲気もある。
- ・ 剣道はほとんどの生徒が初めて取り組む領域であるため、興味関心をどのような工夫によりもたせるかが重要であると考ええる。

(3) 指導観

- ・ 初心者であることを考慮しながら、3年間でしっかりとした礼法、基本動作、素振り、基本打ちを身に付けるということを目標に指導したい。
- ・ 基本動作(構え、足さばき等)を正しく身につけるとともに、対人技能(基本打ち、二段打ち等)を習得し、技能の程度に応じた練習ができるようにする。
- ・ 技能の程度に応じて具体的な目標を持ち、互いに協力して計画的に練習ができるようにする。
- ・ 伝統的な行動の仕方に留意するとともに、互いに相手を尊重し、公正な態度で練習ができるようにする。
- ・ 禁止事項を守り、練習場所の安全を確かめるなど、健康・安全に留意して練習ができるようにする。

(4) 研究とのかかわり

- ・ 本時ゴールを明確にする課題設定<導入>
剣道の打ちは打突と踏み込みが一致していることを知らせる。
- ・ 言語活動を充実させた活動による課題解決<展開>
面の打ち込みの動画を見て、気づいたことを自分なりに考え、グループで確認させる。
- ・ 集団の学びを個に返すまとめと評価<終末>
打突と踏み込み足を一致させた面の打ち込みができるようになったかグループで確認したり、授業を通して、難しかったことや工夫したこと、意識したことを自分なりにまとめてみる。

3 指導と評価の計画

1年 保健体育		単元(題材)名 F 武道(剣道)		総時間 9時間	
学習指導要領の指導事項			単元目標		
<p>(1) 次の運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる技ができるようにする。</p> <p>イ 剣道では、相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの攻防を展開すること。</p> <p>(2) 武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ることができるようにする。</p> <p>(3) 武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。</p>			<ul style="list-style-type: none"> 互いに相手を尊重し、公正な態度で練習を行うことができる。 自分にあった課題を持ち、達成に向けて練習方法を工夫することができる。 剣道の歴史や特性、学び方や練習の仕方を理解することができる。 		
運動への 関心・意欲・態度		運動についての 思考・判断		運動の技能	運動についての 知識・理解
<p>関① 剣道の特性に関心を持ち、進んで取り組もうとしている。</p> <p>関② 礼儀を意識し、互いに協力し練習しようとしている。</p>		<p>思① 基本動作や基本打ちを身につけるための練習を工夫して、計画的に学習できる。</p> <p>思② 間合いや体さばき、打突の機会の方法を考え、練習している。</p>		<p>技① 基本動作を理解し、正しく行うことができる。</p> <p>技② 基本的な打ち方を理解し、面や小手や胴を打つことができる。</p> <p>技③ 相手の動きに応じた基本動作から、打ったり受けたりすることができる。</p>	<p>知① 剣道の基本知識や専門用語を理解している。</p>
時間	主な学習活動/ 評価基準	運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
1	<ul style="list-style-type: none"> 学習のねらいと進め方・剣道の動画を見せイメージを持たせる 礼法、所作 	<p>関①剣道の特性に関心を持ち、進んで取り組もうとしている。【観察】</p>	<p>思①基本動作を身につけるための練習を工夫している。【観察】</p>	<p>技①基本動作を理解し、正しく行うことができる。【観察】</p>	<p>知①剣道の基本知識や専門用語を理解している。【シート】</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> 防具の着装(垂・胴) 				
3	<ul style="list-style-type: none"> 基本動作(構え、足さばき)・手刀・竹刀操作・新聞紙切り 				
4	<ul style="list-style-type: none"> 基本動作(足さばき、体さばき)・竹刀操作・手の内練習・素振り(正面、左右、跳躍素振り) 				
5	<ul style="list-style-type: none"> 基本打ち(打突と踏み込みの一致した打ち、面、小手、胴) 	<p>関②礼儀を意識し、互いに協力し練習しようとしている。【観察】</p>	<p>思②基本打ちを身につけるための運動の行い方のポイントを見付けている。【観察】</p> <p>思②間合いや体さばき、打突の機会の方法を考え、練習している。【観察】</p>	<p>技②基本的な打ち方を理解し、面や小手や胴の打ち込みができる。【観察】</p> <p>技③相手の動きに応じた基本動作から、打ったり受けたりすることができる。【観察】</p>	
6	<ul style="list-style-type: none"> 基本動作(面、小手、胴の打ち込み) 				
7	<p>【本時1/3】</p>				
8	<ul style="list-style-type: none"> 防具の着装(面・小手) 	<p>面、小手、胴の打ち込み稽古</p>	<p>まとめ</p>		
9					

4 本時の目標

- ・基本打ちを身につけるための運動のポイントを見付けている。(思考・判断)
- ・基本的な打ち方を理解し、面の打ち込みができる。(技能)

5 本時の指導 (5/9)

【既習の学習】				
・礼法、着装(胴・垂)、素振り、基本動作(構え、足さばき、体さばき)				
段階	学習活動	学習内容	指導のための工夫	評価の視点・方法
導入 10分	1 準備運動 2 整列、挨拶 3 前時の活動を振り返る。 4 学習課題を把握する。	○ランニング、体操、手の内練習、素振り ○正座、座礼 ○前時の学習内容を確認する。 ○剣道の打ちは打突と踏み込みが一致していることを知らせる。	○素振りは大きな声で行い、足さばき、手の内を意識させる。 ○竹刀の操作と素振りについて確認する。 ○竹刀を打つ面の打ち込みの動画を見せ、イメージさせる。	
打突と踏み込み足を一致させた面の打ち込みができるようになろう				
展開 30分	5 課題を追究する。	○面の打ち込みの動画を見て、気づいたことを発表する。 ○打突を意識したバレーボール打ち練習(打突のイメージと手の内の確認) ○踏み込みを意識した打ち込み練習(竹刀を打たせ、打突と踏み込み足を一致させた面の打ち込みの確認)	○自分なりの考えを持たせ、グループで考えを確認させる。 打突と踏み込みが一致・声も一致 ○竹刀でドリブルリレー ○ワンバウンドさせたボールを打突させ、相手に返す。刃筋正しくタイミングを合わせて打突させる。(打突の強さも意識) ○踏み込み足をつけ、打ちこみの声も出させる。 ○三人組で行い、一人は打突と踏み込み足が一致しているかチェックする。(グループによる学び合い) ○竹刀の中結を握り、肩の高さで横に差し出して柄の部分を持たせる。4ステップ目で打突と踏み込みを同時に行う。打ち込みの声も出させる。 ○4ステップ→3ステップ→2ステップ(バリエーションを変える) ○1本打ち→2本打ち(元立ち2人)	[知識、思考・判断] 基本打ちを身につけるための運動の行い方のポイントを見付けている。 (評価方法観察) A: 打突や踏み込み足の練習方法を考え、協力しながら行っている。 (技能) 基本的な打ち方を理解し面の打ち込みができる。 (評価方法観察) A: 基本的な打ち方を理解し、打突と踏み込み足を一致させた、しっかりとした面打ちができる。
終末 10分	6 自分の考えを再構築する。 7 次時の見通しをもつ。	○まとめる ○打突と踏み込みの一致した小手と胴打ちについて学習することを知る。	○三人組で面の打ち込みを確認させる。 ○打突と踏み込み足を一致させた面打ちで、難しかったことや工夫したこと、意識したことを自分なりにまとめてみる。	
【次時や別単元での学習】				
・打突と踏み込みの一致した小手打ちと胴打ち				